

JAMSTECにおける One Stop Data Shop 構築の試み (船舶観測データの統合データベース)

Integrated database of oceanographic observation cruise -Toward the "One-Stop Data Shop" in JAMSTEC-

市山 祐司^{1*}, 華房康憲¹, 福田和代¹, 北山智暁¹, 齋藤秀亮¹
ICHIYAMA, Yuji^{1*}, Yasunori HANAFUSA¹, Kazuyo FUKUDA¹, Tomoaki KITAYAMA¹, Hideaki SAITO¹

¹ 海洋研究開発機構

¹JAMSTEC

1. 背景

海洋研究開発機構 (JAMSTEC) は約 30 年にわたり海洋観測を実施し、そこで得られた様々な種類のデータやサンプル情報をインターネット上で公開している。JAMSTEC の取得するデータは、海洋物理・化学、気象、固体地球、生物等の幅広い分野にまたがるほか、数値データや画像・映像、図面、文書、サンプル情報などその種類も多岐にわたる。これらのデータはデータの種類に応じて最適化されたデータベースやデータ公開サイトが作成されており、それぞれのサイトから公開されている。

しかしながら関連するデータを総合的に解析しようとする、それぞれのデータ公開サイトを一つ一つ検索し、ダウンロードする必要がある。JAMSTEC 地球情報研究センター (DrC) ではこの問題に対応して、地図上で指定した範囲に含まれる観測データを一括して検索するデータ検索ポータル、研究分野等のキーワードのツリーでデータベースやデータ公開サイトを絞り込むデータカタログ等の検索サービスを提供してきた。

DrC はこの動きをさらに進めてデータの包括的な取扱いを可能にする One Stop Data Shop を実現するために、現在、船舶観測データと関連するデータの一元的な検索・表示・取得を支援するシステムを構築中である。本発表ではその概要を報告する。

2. 新システムの概要

現在、JAMSTEC の船舶観測データは「観測航海データサイト」で公開されているが、これは html ページの集合体である。これをデータベースにすることで様々な項目で検索できるようにする他、いくつかの切り口で航海や潜航を整理して全体を俯瞰する機能によりデータの発見を容易にしようとしている。さらに指定したデータファイルを一括でダウンロードする機能、データファイルを動的に可視化して内容を把握する機能などを追加しようとしている。また、地図上でのデータの絞り込みや指定範囲でのデータファイルの切り出しなどの機能を開発している。また関連する各種のデータベースへのリンクを自動生成し、このサイトを入口にユーザが関連するデータへ容易にアクセスできるようにしている。

DrC ではこれらの機能により本システム (航海・潜航データ探索システム: DARWIN) が船舶観測データおよび関連するデータ全体の One Stop Data Shop となることを期待している。

キーワード: データベース, ワンストップデータショップ, データ管理, 海洋観測

Keywords: database, One-Stop Data Shop, data management, oceanographic observation